保存版

小千谷市洪水ハザードマップ

信濃川【想定最大規模】 1,000年に一度程度の確率

表面
土砂災害ハザードマップもチェック!

指定避難所

地区	No	施設名称	連絡先(0258)	利用可否
西小千谷	1	小千谷小学校	83-2042	○
	2	南保育園	82-2690	○
	3	市民会館	82-9111	○
東小千谷	4	東小千谷小学校	83-2361	○
	5	小千谷高等学校	83-2262	○
	6	東小千谷中学校	82-2472	○
	7	東小千谷体育センター	82-8510	○
	8	勤労青少年ホーム	82-8510	○
	9	錦鯉振興センター	82-7500	○
	10	東栄会館	–	○
	11	木津公会堂	–	○
吉谷	12	吉谷小学校	82-4416	○
	13	吉谷保育園	82-3169	○
	14	吉谷トレーニングセンター	81-6152	○
	15	二俣・逆入集落開発センター	83-2487	○
山辺	16	山本振興会館	83-2396	○
	17	デイホームらくらく(旧池ケ原保育園)	83-4419	○
	18	池ケ原コミュニティセンター	83-4097	○
	19	池ケ原公会堂	–	○
	20	総合支援学校	82-1878	○
	21	上片貝公会堂	82-8749	○
城川	22	小千谷中学校	82-2297	○
	23	小千谷西高等学校	82-4335	○
	24	北保育園	82-1742	×
	25	農業管理センター	82-2935	○
	26	山谷交流センター	82-9581	○
	27	グリーンヒル白山	82-0662	○
	28	総合体育館	83-0077	○
	29	総合福祉センターサンラックおぢや	83-2340	○
	30	城山開発センター	82-2364	○
千田	31	千田中学校	82-2784	△
	32	千田小学校	82-2508	△
	33	和泉小学校	82-2786	△
	34	三仏生多目的集会センター	82-8446	○
	35	千谷センター	82-4526	×
	36	小栗田多目的センター	82-1773	○
	37	すみれ保育園	82-1136	×
東山	38	東山小学校	59-3155	○
	39	金倉会館	–	○
	40	塩谷集落開発センター	59-3519	○
	41	東山住民センター	59-2003	○
川井	42	(旧)川井小学校	–	○
	43	川井住民センター	83-3155	○
	44	内ケ巻集落開発センター	–	○
	45	冬井集会所	–	○
	46	戸屋集会所	–	○
岩沢	47	岩沢住民センター	86-2002	○
	48	岩沢保育園	86-2090	○
	49	桂集落開発センター	–	○
	50	山谷集落開発センター	–	○
	51	市之口公会堂	–	○
	52	外之沢集会所	–	○
	53	大池ふるさとセンター	–	○
真人	54	南中学校	86-3009	○
	55	真人ふれあい交流館	86-3002	○
	56	(旧)真人小学校	–	○
	57	(旧)真人保育園	–	○
	58	(旧)真人住民センター	–	○
	59	地域福祉センターみなみ	81-3100	○
	60	克雪管理センター	86-2583	○
	61	北山集落センター	86-2194	○
	62	真人北部コミュニティセンター	86-3285	○
片貝	63	片貝中学校	84-2030	○
	64	片貝小学校	84-2025	○
	65	片貝保育園	84-2027	○
	66	片貝ふるさと会館	84-3900	○
	67	片貝総合センター	84-2026	○
	68	(旧)高梨保育園	–	×

利用可否　○：全ての階が使える　△：2階以上　×：利用不可

要配慮者利用施設

地区	No	施設名称	連絡先(0258)
西小千谷	1	特養老人ホーム雪あかり	89-6711
東小千谷	2	健康倶楽部中子の森	82-0880
	3	ワークショップ想	86-8148
千田	4	千谷島の家	81-6211
	5	グループホーム共生	81-0201
川井	6	グループホームほのぼの	81-4010

信濃川洪水予報の発表基準　小千谷観測所(元町:旭橋左岸上流)

信濃川では、河川が増水した場合に次の洪水予報が発表されます。また、水位に応じて市より避難勧告等が発令されます。早めの避難を心がけましょう!

水位危険度レベル	判断基準水位	解説	発令内容
レベル5 氾濫の発生			緊急安全確保
レベル4 氾濫危険水位	49.2m	河川が氾濫するおそれのある水位	避難指示
レベル3 避難判断水位	48.5m	避難情報発表の目安となる水位	高齢者等避難
レベル2 氾濫注意水位	46.5m	河川の氾濫の発生を注意する水位	
レベル1 水防団待機水位	45.5m	水防団が待機する目安となる水位	

ふだんの水位

わが家の防災メモ

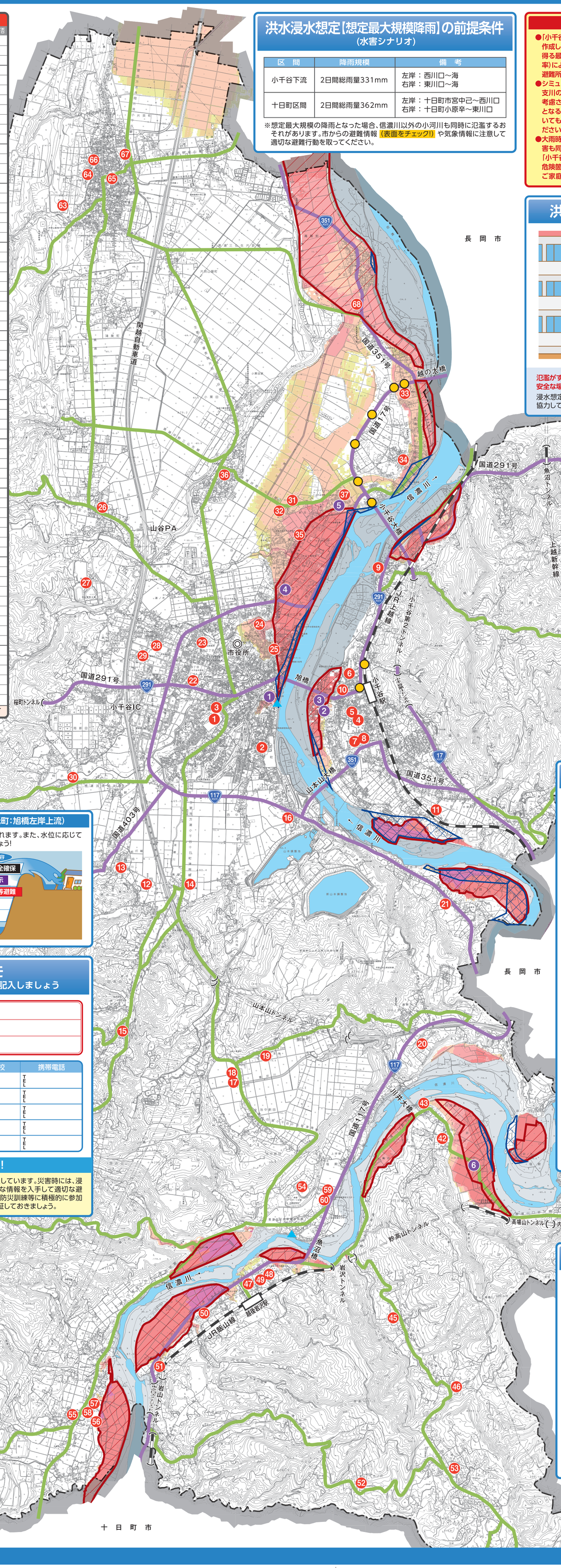
いざという時のために家族で話し合って記入しましょう

わが家の避難所	
家族の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

名前	生年月日	血液型	職場／学校	携帯電話
	年 月 日生	型	TEL	TEL
	年 月 日生	型	TEL	TEL
	年 月 日生	型	TEL	TEL
	年 月 日生	型	TEL	TEL
	年 月 日生	型	TEL	TEL

防災訓練に参加しよう!

小千谷市では、自主防災会などと協力して、防災訓練等を開催しています。災害時には、浸水被害状況が刻々と変化する中で、住民の皆さんが自ら必要な情報を入手して適切な避難行動を判断する必要があります。日頃から地域で開催される防災訓練等に積極的に参加し、避難場所や避難路、避難のタイミング等について事前に検証しておきましょう。



洪水浸水想定【想定最大規模降雨】の前提条件

(水害シナリオ)

区間	降雨規模	備考
小千谷下流	2日間総雨量331mm	左岸：西川口～海 右岸：東川口～海
十日町区間	2日間総雨量362mm	左岸：十日町市宮中己～西川口 右岸：十日町小原辛～東川口

※想定最大規模の降雨となった場合、信濃川以外の小河川も同時に氾濫するおそれがあります。市からの避難情報(表面をチェック!)や気象情報に注意して適切な避難行動を取ってください。

洪水ハザードマップとは

●「小千谷市洪水ハザードマップ」は、国土交通省が作成した浸水想定区域をもとに、信濃川が想定し得る最大規模の降雨(1,000年に一度程度の確率)によって、洪水浸水が想定される範囲と水深、避難所の位置などを地図に示したものです。

●シミュレーションの条件を超える規模の降雨や支川の決壊による氾濫、内水による氾濫などは考慮されていませんので、想定と異なる浸水深となる場合や、想定が示されていない区域においても浸水する場合があります。十分にご注意ください。

●大雨時には、洪水や内水氾濫だけでなく、土砂災害も同時に発生する可能性が高いです。表面の「小千谷市土砂災害ハザードマップ」と合わせて危険箇所を確認し、被害を最小限に抑えるため、ご家庭や地域で普段から災害に備えましょう。

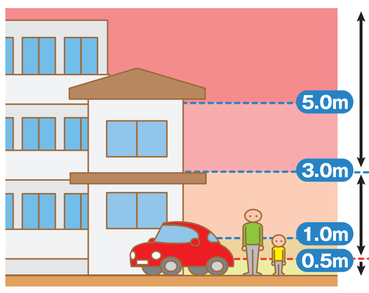
凡例

浸水深
- 10.0m以上
- 5.0m～10.0m
- 3.0～5.0m
- 1.0～3.0m
- 0.5～1.0m
- 0.5m未満

下記の区域は、早期の立退き避難が必要です
家屋倒壊等氾濫想定区域
- 氾濫流
- 河岸侵食

- 指定避難所
- 要配慮者利用施設
- 水位観測所
- 道路の下を通る地下道
- 国道
- 県道・主要地方道

洪水浸水想定区域において求められる避難行動



最上階も浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要です!

床上浸水が想定されることから、屋外避難を行ってください!
※浸水時に想定される状況を踏まえ、屋内で安全確保を行うことも判断してください。

床下浸水が想定されることから、屋内で安全確保を行い、必要に応じて屋外へ避難してください!
※水深が0.5mを超えると大人でも避難が非常に困難になりますので早めに避難しましょう。

氾濫がすでに始まっていて、避難所に移動することによりかえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所へ避難してください！また、外出することさえ危険な場合には、屋内で安全確保を行ってください。

浸水想定区域外についても、浸水区域内の住民の方が避難してくることも考えられます。手助けを行うなど、協力して避難しましょう!

避難の心得 ～どうやって避難するの？～

避難路の確認

自宅の近くにどんな避難所があるのか確認してください。家族みんなで避難所まで歩いて、安全で避難しやすい道を探してみましょう。また、避難にかかる時間を把握しておきましょう。

避難所に避難するときに橋を渡る必要がある地区のみなさんは、特に「避難情報」に注意して早めの避難行動を心がけてください。

浸水したら車での避難は控えましょう

車での避難は道路が浸水する前に早めに開始しましょう。
道路が浸水すると車のエンジンが止まりますので、できる限り歩いて避難しましょう。

災害時避難持ち出し品の準備

避難のときに持ち出す荷物は必要最小限にし、場所を決めて持ち出し袋にまとめておきましょう。

高齢者や障がい者の方などの避難に協力しましょう

避難するときは、隣近所に声をかけて複数で避難しましょう。
また、高齢者や身体の不自由な方、子どもなどの避難に協力しましょう。

自主的な避難準備

雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどの最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。また、そのときにいる場所の周辺で危険を感じたら、自主的に避難準備を始めましょう。

靴は運動靴、動きやすい格好で避難しましょう

浸水した道路は、マンホールのふたが外れていたり、足元が見えないため非常に危険です。手をつないで、先頭の方は長い棒などで確認しながら進みましょう。

避難の呼びかけに注意を

地区のみなさんに避難が必要と判断したときは、広報車・テレビ・ラジオ等、あらゆる手段で避難の呼びかけを行います。

万が一、逃げ遅れたら

避難できないと感じたら、無理をせずに、自宅の2階や近所の高台へ避難し、救助を待ちましょう。

災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混みあいます。
安否確認には災害用伝言ダイヤル〔171〕、災害用伝言板を利用しましょう。

【音声】災害用伝言ダイヤル〔171〕

災害用伝言ダイヤルは、地震・噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音
171 → 1 → XXXX XX XXXX
171 → 2 → XXXX XX XXXX
被災者の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災者の電話番号を入力
伝言の再生

※通常時は利用できません。毎月1日・15日、1/1～3、防災週間(8/30～9/5)、防災とボランティア週間(1/15～21)に体験利用できます。
※上記以外の詳細はNTTホームページにてご確認下さい。

【文字情報】携帯電話「災害用伝言板」 / 災害用伝言板〔web171〕

安否情報を文字情報(テキスト)で登録します。登録された安否情報は、電話番号をキーとして携帯電話やパソコンなどから確認することができます。

※詳しくは、ご利用の携帯電話会社(災害用伝言板)、NTT(web171)にお問い合わせください。

小千谷市 防災安全課
平成29年3月作成
〒947-8501 小千谷市城内2-7-5
TEL.0258-83-3515　FAX.0258-83-2789
〈HP〉https://www.city.ojiya.niigata.jp/　〈E-mail〉bousai@city.ojiya.niigata.jp